

平成24年度
平成23年度実施

事務事業評価調書

整理番号	4 - 1
作成年月日	H24. 7. 31
事業区分	☒ 継続規 ☐ 新規

事務事業名 地域バイオマス資源利活用推進プロジェクト

事業開始年度	平成20年度	住民参加	☒ 有	関係例規・法令名	
事業終了年度	平成24年度	住民協働	☐ 無	関係個別計画名	

会計区分	一般会計	款	6. 農林水産業費	項	4. バイオマス事業費	目	1. バイオマス事業研究費
------	------	---	-----------	---	-------------	---	---------------

担当課	産業振興課	担当係名	水産商工係	調書作成者職氏名	課長補佐 推名 徹
-----	-------	------	-------	----------	-----------

【第五期興部町総合計画】	☒ 登載事業	☐ 非登載事業	実施計画登載No	175
--------------	--	--------------------------------	----------	-----

分類	コード	名 称
基本目標	5	環境を守る“まちづくり”
施策項目	26	環境の保全
単位施策	4	新エネルギーの研究促進

I. 事業計画

(1) 事業の相手	※ 何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのか具体的に記載して下さい。 ・ 地域バイオマス資源活用調査に関する経費 ・ 地域新エネルギービジョン（重点ビジョン・F S調査）及び興部町バイオマスタウン構想において策定し示された家畜排せつ物を中心としたバイオガスエネルギーの活用調査に係る経費
(2) 事業の概要	※ 目指すべき姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載して下さい。 ・ バイオマス事業研究及びバイオガス利活用事業基本調査評価委員会に係る経費 ・ 地域新エネルギービジョン（H21重点ビジョン・H22F S調査）の策定 ・ バイオマスシンポジウム、バイオマスライブの実施 ・ バイオマスタウン構想の策定公表（H22） ・ バイオマス活用推進計画の策定（バイオマスタウン構想の具体的な展開計画の策定）
(3) 事業の成果 目指す姿	※ 事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載して下さい。 地域バイオマス資源の利活用に向け、地域に適したバイオマス技術のあり方や産業として確立するための調査検討、地域住民の理解を深めるための取組を推進し、バイオマス事業による産業づくりと環境保全を図ることを目的としている。

II. 指 標【成果を判断する目標数値】

No	種 別	内 容	区 分	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
1			目標値 実績値						
2			目標値 実績値						
3			目標値 実績値						
4			目標値 実績値						

III. 事業費の推移 (単位：千円)

区 分	19年度 決 算	20年度 決 算	21年度 決 算	22年度 決 算	23年度 決 算	24年度 予 算	20～24年度 合 計
事業費(千円)	0	10,300	15,741	7,285	9,140	1,900	44,366
財源内訳							
国庫支出金				535			535
道支出金							0
地方債							0
その他			6,000	4,500			10,500
一般財源		10,300	9,741	2,250	9,140	1,900	33,331

IV. 担当課による事務事業の評価

区 分	チェック項目の説明（内容）等
1. 実施の妥当性 (1) 町の政策的な事業である。 ☒ (2) 公共性が高い事業である。 ☐ (3) 緊急性が高い事業である。 ☐ (4) 法令等により実施が義務付けられている。 ☐ (5) その他 【具体的に記載】 ☐	・ バイオマス資源の利活用調査は、本町の基幹産業の一つである酪農畜産農家等における環境問題、良質な草地造成問題さらにはエネルギーとしての活用の観点から地球温暖化対策や地域エネルギー対策の面からも取組成果に期待されている。
2. 経済性・効率性 (1) 費用に見合う効果がある。 ☐ (2) コスト削減の余地がある。 ☐ (3) 受益者負担の余地がある。 ☐ (4) 補助制度等活用の可能性がある。 ☐ (5) その他 【具体的に記載】 ☒	・ NEDO及び国の補助事業を導入し、新エネルギービジョン策定委員会、バイオマスタウン構想策定委員会を開催し、平成23年度にはバイオガス利活用事業基本調査を行った。 ・
3. 必要性 (1) 町民のニーズがある。（高い） ☒ (2) 事業を継続する必要がある。 ☒ (3) 類似事業との統合・再編の可能性がある。 ☐ (4) その他 【具体的に記載】 ☐	・ 対象となる酪農業者の中には、ふん尿処理対策・臭気対策としての事業実施へのニーズが高い人もいる。 ・ 住民の中では、河川・海洋環境保全や臭気対策としての環境対策へのニーズは高い。
4. 代替性 (1) 行政主体による実施が適当である。 ☒ (2) 民間委託等による実施が可能である。 ☐ (3) 住民協働（主体）による実施が可能である。 ☐ (4) その他 【具体的に記載】 ☐	・ これまでのバイオマス資源調査や活用に関する研究等は行政主体での実施が適当であった。 ・ 今後事業着手に至る場合にあっては、エネルギーの価値を十分に利用して、受益者が維持運営できる事業展開が望まれる。
5. 事業の達成度 (1) 期待どおりの成果があがっている。 ☐ (2) 概ね期待どおりの成果があがっている。 ☒ (3) 成果が不十分である。 ☐ (4) 事業の見直し等が必要である。 ☐ (5) その他 【具体的に記載】 ☐	・ 興部町に賦存するバイオマス資源の活用に関する一定程度の可能性や方向性、必要性などの基礎的な調査については一定程度の成果を得ている。 ・ 事業化に向けては、財政面での町の支援の在り方や、事業運営に係る受益者組織などの体制づくりが求められる。
特記事項	

V. 一 次 評 価（所管課）、二 次 評 価（庁内評価委員会）

区 分	評 価	評 価 選 択 理 由 / 今 後 の 方 向 性
一 次 評 価	継 続 【現状維持】	今後も地域のバイオマス資源利活用に係る研究等は継続する必要があるが、再生エネルギー買取法などが決定した中、家畜ふん尿によるバイオガス利用と事業化については一定程度の方向性を決定する時期にきている。
二 次 評 価	継 続 【現状維持】	環境問題や新エネルギー対策の面から調査研究は継続しつつも、事業化の可否については、そろそろ方向性（結論）を出すべきであるので、一次評価のとおりとする。

VI. 外部意見（興部町総合計画策定審議会）

	事業を継続するにあたり、受益者となる農家へ事業の進捗状況、取り組み内容等の詳細な説明を早急に実施しすべきと考える。
--	---

VII. 総合評価（町長、副町長、教育長）

最 終 評 価	評 価 選 択 理 由 / 今 後 の 方 向 性
継 続 【現状維持】	事業化が可能か結論を出すため継続実施する。

☆ 評 価

- (1) 継 続 【現状維持】 ⇒ 事業内容、事業量に大きな変動がなく、予算増減が少ないもの
 (2) 継 続 【拡 充】 ⇒ 事業内容、事業量に相当程度の変動があり、予算増を伴うもの
 (3) 継 続 【縮 小】 ⇒ 事業内容、事業量に相当程度の変動があり、予算減を伴うもの
 (4) 継 続 【統 合】 ⇒ 事業内容の類似する事業に統合し、この事業を廃止するもの

- (5) 終 了 ⇒ 単年度事業、期間満了による事業の終了
 (6) 休 止 ⇒ 隔年度での事業実施などによる事業の休止
 (7) 廃 止 ⇒ この事業を廃止するもの

平成24年度
平成23年度実施

事務事業評価調書

整理番号	4 - 2
作成年月日	H24. 7. 31
事業区分	☒ 継続 ☐ 新規

事務事業名 交通記念複合施設指定管理委託事業

事業開始年度	平成20年度	住民参加	☒ 有	関係例規・法令名	興部町指定管理者条例
事業終了年度	平成24年度	住民協働	☐ 無	関係個別計画名	

会計区分	一般会計	款	7. 商工費	項	1. 商工費	目	3. 地域振興費
------	------	---	--------	---	--------	---	----------

担当課	産業振興課	担当係名	水産商工係	調書作成者職氏名	課長補佐 推名 徹
-----	-------	------	-------	----------	-----------

【第五期興部町総合計画】	☒ 登載事業	☐ 非登載事業	実施計画登載No	145
--------------	--	--------------------------------	----------	-----

分類	コード	名称
基本目標	5	環境を守る“まちづくり”
施策項目	27	自然資源の活用による観光振興
単位施策	1	既存施設を活用した拠点整備の推進

I. 事業計画

(1) 事業の相手	※ 何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのか具体的に記載して下さい。 指定管理者制度により興部町商工会に管理委託している。
(2) 事業の概要	※ 目指すべき姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載して下さい。 交通記念複合施設の管理業務を指定管理者制度によって行っている。 ・管理期間 H22年度～24年度（3カ年） ・指定施設等 交通記念複合施設及び隣接広場
(3) 事業の成果 目指す姿	※ 事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載して下さい。 指定管理者制度による業務委託により、住民の利便性に対して柔軟な対応ができる。

II. 指標【成果を判断する目標数値】

No	種別	内 容	区分	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
1			目標値 実績値						
2			目標値 実績値						
3			目標値 実績値						
4			目標値 実績値						

III. 事業費の推移 (単位：千円)

区 分	19年度 決 算	20年度 決 算	21年度 決 算	22年度 決 算	23年度 決 算	24年度 予 算	20～24年度 合 計
事業費(千円)	0	12,935	12,935	12,910	12,950	12,950	64,680
財源内訳							
国庫支出金							0
道支出金							0
地方債							0
その他							0
一般財源		12,935	12,935	12,910	12,950	12,950	64,680

Ⅳ. 担当課による事務事業の評価

区 分		チェック項目の説明（内容）等
1. 実施の妥当性	(1) 町の政策的な事業である。	 指定管理者制度を導入し、維持管理運営等に柔軟性が図られている。
	(2) 公共性が高い事業である。	
	(3) 緊急性が高い事業である。	
	(4) 法令等により実施が義務付けられている。	
	(5) その他 【具体的に記載】	
2. 経済性・効率性	(1) 費用に見合う効果がある。	 更新時期においては、業務運営内容を再点検する必要がある。
	(2) コスト削減の余地がある。	
	(3) 受益者負担の余地がある。	
	(4) 補助制度等活用の可能性はある。	
	(5) その他 【具体的に記載】	
3. 必要性	(1) 町民のニーズがある。（高い）	 住民の利便性向上に対して、注視する必要がある。
	(2) 事業を継続する必要がある。	
	(3) 類似事業との統合・再編の可能性はある。	
	(4) その他 【具体的に記載】	
4. 代替性	(1) 行政主体による実施が適当である。	 興部町商工会に管理委託済みである。
	(2) 民間委託等による実施が可能である。	
	(3) 住民協働（主体）による実施が可能である。	
	(4) その他 【具体的に記載】	
5. 事業の達成度	(1) 期待どおりの成果があがっている。	 維持管理で業務の軽減が図られている。
	(2) 概ね期待どおりの成果があがっている。	
	(3) 成果が不十分である。	
	(4) 事業の見直し等が必要である。	
	(5) その他 【具体的に記載】	

特記事項

Ⅴ. 一 次 評 価（所管課）、二 次 評 価（庁内評価委員会）

区 分	評 価	評 価 選 択 理 由 / 今 後 の 方 向 性
一 次 評 価	継 続 【現状維持】	指定管理者制度により継続中（平成22～24年度）
二 次 評 価	継 続 【現状維持】	業務内容を点検しコスト削減と利便性の向上に努めながら、指定管理を継続すべきであるので、一次評価のとおりとする。

Ⅵ. 外部意見（興部町総合計画策定審議会）

--	--

Ⅶ. 総合評価（町長、副町長、教育長）

最 終 評 価	評 価 選 択 理 由 / 今 後 の 方 向 性
継 続 【現状維持】	

- ☆ 評 価
- (1) 継 続 【現状維持】⇒ 事業内容、事業量に大きな変動がなく、予算増減が少ないもの

(2) 継 続 【拡 充】⇒ 事業内容、事業量に相当程度の変動があり、予算増を伴うもの

(3) 継 続 【縮 小】⇒ 事業内容、事業量に相当程度の変動があり、予算減を伴うもの

(4) 継 続 【統 合】⇒ 事業内容の類似する事業に統合し、この事業を廃止するもの

(5) 終 了⇒ 単年度事業、期間満了による事業の終了

(6) 休 止⇒ 隔年度での事業実施などによる事業の休止

(7) 廃 止⇒ この事業を廃止するもの

平成24年度
平成23年度実施

事務事業評価調書

整理番号	4 - 3
作成年月日	H24. 7. 31
事業区分	☒ 継続規 ☐ 新規

事務事業名 沙留海水浴場管理委託事業

事業開始年度	平成20年度	住民参加	☒ 有	関係例規・法令名	
事業終了年度	平成24年度	住民協働	☐ 無	関係個別計画名	

会計区分	一般会計	款	7. 商工費	項	1. 商工費	目	2. 観光費
------	------	---	--------	---	--------	---	--------

担当課	産業振興課	担当係名	水産商工係	調書作成者職氏名	課長補佐 推名 徹
-----	-------	------	-------	----------	-----------

【第五期興部町総合計画】	☒ 登載事業 ☐ 非登載事業	実施計画登載No	146
--------------	---	----------	-----

分類	コード	名称
基本目標	5	環境を守る“まちづくり”
施策項目	27	自然資源の活用による観光振興
単位施策	1	既存施設を活用した拠点整備の推進

I. 事業計画

(1) 事業の相手	※ 何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのか具体的に記載して下さい。 興部町観光協会へ業務委託している。
(2) 事業の概要	※ 目指すべき姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載して下さい。 ・海水浴場維持管理～海の家管理人、海水浴客監視人、周辺環境整備 ・野営場等臨海休養施設維持管理～コテージ2棟、炊事棟、トイレ棟等管理清掃
(3) 事業の成果 目指す姿	※ 事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載して下さい。 昨年の評価により継続（縮小）と判断されたことから、施設（海の家・売店等）の老朽化や砂浜の浸食等の対応について、最低限の費用により可能な限り利用継続ができるよう、効率的・効果的な方法により、観光施設としての存続を図る。

II. 指標【成果を判断する目標数値】

No	種別	内 容	区 分	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
1			目標値 実績値						
2			目標値 実績値						
3			目標値 実績値						
4			目標値 実績値						

III. 事業費の推移 (単位：千円)

区 分	19年度 決 算	20年度 決 算	21年度 決 算	22年度 決 算	23年度 決 算	24年度 予 算	20～24年度 合 計
事業費(千円)	0	1,620	1,620	1,620	1,930	2,100	8,890
財源内訳							
国庫支出金							0
道支出金							0
地方債							0
その他							0
一般財源		1,620	1,620	1,620	1,930	2,100	8,890

IV. 担当課による事務事業の評価

区 分	チェック項目の説明（内容）等
1. 実施の妥当性 (1) 町の政策的な事業である。 ☐ (2) 公共性が高い事業である。 ☐ (3) 緊急性が高い事業である。 ☐ (4) 法令等により実施が義務付けられている。 ☐ (5) その他 【具体的に記載】 ☒	・オホーツク海で数少ない海水浴場であり、町内の主要な観光施設としてこれまでも位置づけられてきていることから、最小限の維持費用を充当して、施設が使用可能な限り維持すべきである。
2. 経済性・効率性 (1) 費用に見合う効果がある。 ☐ (2) コスト削減の余地がある。 ☐ (3) 受益者負担の余地がある。 ☐ (4) 補助制度等活用の可能性がある。 ☐ (5) その他 【具体的に記載】 ☒	・来場者による経済効果はそれほど期待できない。
3. 必要性 (1) 町民のニーズがある。（高い） ☐ (2) 事業を継続する必要がある。 ☒ (3) 類似事業との統合・再編の可能性がある。 ☐ (4) その他 【具体的に記載】 ☐	・施設の安全性を維持できない状況に達しない限りは、現状施設を最低限維持管理しながら、継続すべきである。 ・遊泳（海水浴場）施設としての存続については、今後の検討が必要である。 （キャンプ場、コテージの利用のみとし、遊泳をさせないことで、監視人、海の家管理等のあり方を検討するなど）
4. 代替性 (1) 行政主体による実施が適当である。 ☐ (2) 民間委託等による実施が可能である。 ☒ (3) 住民協働（主体）による実施が可能である。 ☐ (4) その他 【具体的に記載】 ☐	・現在の業務委託のほかに、指定管理者制度による管理とすることも可能性がある。
5. 事業の達成度 (1) 期待どおりの成果があがっている。 ☐ (2) 概ね期待どおりの成果があがっている。 ☒ (3) 成果が不十分である。 ☐ (4) 事業の見直し等が必要である。 ☐ (5) その他 【具体的に記載】 ☐	・コテージの利用者については、リピーター等が多い。 ・キャンプ場としての利用者は例年一定程度の利用がある。

特記事項

V. 一 次 評 価（所管課）、二 次 評 価（庁内評価委員会）

区 分	評 価	評 価 選 択 理 由 / 今 後 の 方 向 性
一 次 評 価	継 続 【縮 小】	現状で施設が使用可能な限りは現状維持にて継続する。ただし、大規模な改修や新規投資は原則行わない。
二 次 評 価	継 続 【縮 小】	海水浴場施設として維持できる内は、現状のまま最小限の維持管理で継続すべきであるので、一次評価のとおりとする。

VI. 外部意見（興部町総合計画策定審議会）

--	--

VII. 総合評価（町長、副町長、教育長）

最 終 評 価	評 価 選 択 理 由 / 今 後 の 方 向 性
継 続 【縮 小】	一次評価のとおり現状のまま最小限の維持管理で継続する。

☆ 評 価

- (1) 継 続【現状維持】⇒ 事業内容、事業量に大きな変動がなく、予算増減が少ないもの
 (2) 継 続【拡 充】⇒ 事業内容、事業量に相当程度の変動があり、予算増を伴うもの
 (3) 継 続【縮 小】⇒ 事業内容、事業量に相当程度の変動があり、予算減を伴うもの
 (4) 継 続【統 合】⇒ 事業内容の類似する事業に統合し、この事業を廃止するもの

- (5) 終 了 ⇒ 単年度事業、期間満了による事業の終了
 (6) 休 止 ⇒ 隔年度での事業実施などによる事業の休止
 (7) 廃 止 ⇒ この事業を廃止するもの

平成24年度
平成23年度実施

事務事業評価調書

整理番号	4 - 4
作成年月日	H24. 7. 31
事業区分	☒ 継続規 ☐ 新規

事務事業名	夏まつり実行委員会補助事業
-------	---------------

事業開始年度	平成20年度	住民参加	☒ 有	関係例規・法令名	
事業終了年度	平成24年度	住民協働	☐ 無	関係個別計画名	

会計区分	一般会計	款	7. 商工費	項	1. 商工費	目	2. 観光費
------	------	---	--------	---	--------	---	--------

担当課	産業振興課	担当係名	水産商工係	調書作成者職氏名	課長補佐 推名 徹
-----	-------	------	-------	----------	-----------

【第五期興部町総合計画】	☒ 登載事業	☐ 非登載事業	実施計画登載No	147
--------------	--	--------------------------------	----------	-----

分類	コード	名称
基本目標	5	環境を守る“まちづくり”
施策項目	27	自然資源の活用による観光振興
単位施策	2	地域の魅力向上と情報発信

I. 事業計画

(1) 事業の相手	※ 何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのか具体的に記載して下さい。 町民が参加交流のできる興部町最大のイベントとして、8月上旬に開催している「夏まつり」実行委員会に補助している。
(2) 事業の概要	※ 目指すべき姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載して下さい。 ○開催時期 8月第1 土・日曜日 ○会場 ジョイパーク・ふれあいの森 ○事業内容 前夜祭（土曜日）～花火大会、各種売店（町内出店者） 本祭（日曜日）～牛肉・ホタテ販売、各種アトラクション、抽選会、各種売店
(3) 事業の成果 目指す姿	※ 事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載して下さい。 町民が「おこっぺの夏」を満喫してもらうと共に基幹産業の振興と町の活性化を図る。

II. 指標【成果を判断する目標数値】

No	種別	内 容	区分	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
1			目標値 実績値						
2			目標値 実績値						
3			目標値 実績値						
4			目標値 実績値						

III. 事業費の推移 (単位：千円)

区 分	19年度 決 算	20年度 決 算	21年度 決 算	22年度 決 算	23年度 決 算	24年度 予 算	20～24年度 合 計
事業費(千円)	0	2,000	2,000	2,000	2,000	2,300	10,300
財源内訳							
国庫支出金							0
道支出金							0
地方債							0
その他							0
一般財源		2,000	2,000	2,000	2,000	2,300	10,300

IV. 担当課による事務事業の評価

区 分	チェック項目の説明（内容）等
1. 実施の妥当性 (1) 町の政策的な事業である。 ☐ (2) 公共性が高い事業である。 ☒ (3) 緊急性が高い事業である。 ☐ (4) 法令等により実施が義務付けられている。 ☐ (5) その他 【具体的に記載】 ☐	町民が集い参加する最大のイベントとなっている。開催に当たっては町の支援（補助金）は不可欠である。
2. 経済性・効率性 (1) 費用に見合う効果がある。 ☒ (2) コスト削減の余地がある。 ☐ (3) 受益者負担の余地がある。 ☐ (4) 補助制度等活用の可能性がある。 ☐ (5) その他 【具体的に記載】 ☐	地場製品の消費拡大や町内外へのPRなど、出店者側における意識の変革や、主催者側のイベントのあり方を検討するなどの必要はあるが、おおむね町内への消費・経済効果は発揮されている。
3. 必要性 (1) 町民のニーズがある。（高い） ☐ (2) 事業を継続する必要がある。 ☒ (3) 類似事業との統合・再編の可能性がある。 ☐ (4) その他 【具体的に記載】 ☐	内容のマナー化やスタッフの減少などへの対応と、多くの町民が楽しめる内容への工夫をしながら、今後も継続して実施すべきである。
4. 代替性 (1) 行政主体による実施が適当である。 ☐ (2) 民間委託等による実施が可能である。 ☐ (3) 住民協働（主体）による実施が可能である。 ☐ (4) その他 【具体的に記載】 ☒	実行委員会体制は確立されているが、各構成員の減少や固定化による負担増の傾向にある。組織や団体の枠を超えた実施スタッフの確保など、新たな試みも必要である。
5. 事業の達成度 (1) 期待どおりの成果があがっている。 ☐ (2) 概ね期待どおりの成果があがっている。 ☒ (3) 成果が不十分である。 ☐ (4) 事業の見直し等が必要である。 ☐ (5) その他 【具体的に記載】 ☐	天候による来場者の変化はあるものの、地域住民の楽しむ場としての「夏まつり」としての成果はある程度達成されている。

特記事項

V. 一 次 評 価（所管課）、二 次 評 価（庁内評価委員会）

区 分	評 価	評 価 選 択 理 由 / 今 後 の 方 向 性
一 次 評 価	継 続 【現状維持】	改善すべき点や課題はあるものの、町最大のイベントとして今後も継続が必要である。
二 次 評 価	継 続 【現状維持】	町最大のイベントとして定着しており、内容等を工夫改善しながら継続すべきであるので、一次評価のとおりとする。

VI. 外部意見（興部町総合計画策定審議会）

--	--

VII. 総合評価（町長、副町長、教育長）

最 終 評 価	評 価 選 択 理 由 / 今 後 の 方 向 性
継 続 【現状維持】	

☆ 評 価

- (1) 継 続 **【現状維持】** ⇒ 事業内容、事業量に大きな変動がなく、予算増減が少ないもの
 (2) 継 続 **【拡 充】** ⇒ 事業内容、事業量に相当程度の変動があり、予算増を伴うもの
 (3) 継 続 **【縮 小】** ⇒ 事業内容、事業量に相当程度の変動があり、予算減を伴うもの
 (4) 継 続 **【統 合】** ⇒ 事業内容の類似する事業に統合し、この事業を廃止するもの

- (5) 終 了 ⇒ 単年度事業、期間満了による事業の終了
 (6) 休 止 ⇒ 隔年度での事業実施などによる事業の休止
 (7) 廃 止 ⇒ この事業を廃止するもの

平成24年度
平成23年度実施

事務事業評価調書

整理番号	4 - 5
作成年月日	H24. 7. 31
事業区分	☒ 継続規 ☐ 新規

事務事業名 興部町観光協会補助事業

事業開始年度	平成20年度	住民参加	☒ 有	関係例規・法令名	
事業終了年度	平成24年度	住民協働	☐ 無	関係個別計画名	

会計区分	一般会計	款	6. 農林水産業費	項	1. 商工費	目	2. 観光費
------	------	---	-----------	---	--------	---	--------

担当課	産業振興課	担当係名	水産商工係	調書作成者職氏名	課長補佐 推名 徹
-----	-------	------	-------	----------	-----------

【第五期興部町総合計画】	☒ 登載事業 ☐ 非登載事業	実施計画登載No	148
--------------	---	----------	-----

分類	コード	名称
基本目標	5	環境を守る“まちづくり”
施策項目	27	自然資源の活用による観光振興
単位施策	2	地域の魅力向上と情報発信

I. 事業計画

(1) 事業の相手	※ 何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのか具体的に記載して下さい。 興部町観光協会。事務局は平成23年度より興部町商工会にて担当。
(2) 事業の概要	※ 目指すべき姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載して下さい。 ・公園まつり、夏まつり、沙留海浜まつり、イルミネーションなどの事業 ・海水浴場、コテージ等の管理受託 ・観光ポスター、リーフレットなど観光情報発信
(3) 事業の成果 目指す姿	※ 事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載して下さい。 興部町における観光振興の発展を図り、産業経済の繁栄に寄与する。

II. 指標【成果を判断する目標数値】

No	種別	内 容	区分	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
1			目標値 実績値						
2			目標値 実績値						
3			目標値 実績値						
4			目標値 実績値						

III. 事業費の推移 (単位：千円)

区 分	19年度 決 算	20年度 決 算	21年度 決 算	22年度 決 算	23年度 決 算	24年度 予 算	20～24年度 合 計
事業費(千円)	1,670	1,670	1,670	3,670	1,640	2,550	11,200
財源内訳							
国庫支出金							0
道支出金							0
地方債							0
その他							0
一般財源	1,670	1,670	1,670	3,670	1,640	2,550	11,200

IV. 担当課による事務事業の評価

区 分	チェック項目の説明（内容）等
1. 実施の妥当性 (1) 町の政策的な事業である。 ☒ (2) 公共性が高い事業である。 ☐ (3) 緊急性が高い事業である。 ☐ (4) 法令等により実施が義務付けられている。 ☐ (5) その他 【具体的に記載】 ☐	既存の年間イベントの実施により町民の親睦や町内経済の活性化に一定程度の効果はあり、継続が必要である。
2. 経済性・効率性 (1) 費用に見合う効果がある。 ☒ (2) コスト削減の余地がある。 ☐ (3) 受益者負担の余地がある。 ☐ (4) 補助制度等活用の可能性がある。 ☐ (5) その他 【具体的に記載】 ☒	既存イベント等による経済効果はある程度認められる。 事務局体制が町から独立したことにより、新たな視点で観光情報や地場特産品の情報発信、新たな観光集客に向けた取り組みなどの立案に期待するとともに、効果的と思われる新たな取組実施に向けては町の積極的な支援も必要となる。
3. 必要性 (1) 町民のニーズがある。（高い） ☐ (2) 事業を継続する必要がある。 ☒ (3) 類似事業との統合・再編の可能性がある。 ☐ (4) その他 【具体的に記載】 ☐	地域観光の発信者としてさらに観光協会が発展するよう支援を継続する必要がある。
4. 代替性 (1) 行政主体による実施が適当である。 ☐ (2) 民間委託等による実施が可能である。 ☒ (3) 住民協働（主体）による実施が可能である。 ☐ (4) その他 【具体的に記載】 ☐	平成23年度より事務局を町から商工会へ完全移管した。 ただし、組織としての体制づくりが今後必要とされ、各種事業の遂行に必要とするスタッフ体制も現状では厳しいことから、町の協力もある程度必要である。
5. 事業の達成度 (1) 期待どおりの成果があがっている。 ☐ (2) 概ね期待どおりの成果があがっている。 ☒ (3) 成果が不十分である。 ☐ (4) 事業の見直し等が必要である。 ☐ (5) その他 【具体的に記載】 ☐	事務局が町から独立したばかりであり、これから独自の観光振興に関する事業や新たな試みに期待する。 通常行っているイベント等については、細かな点では改善すべきことはあるが、住民に対してある程度定着した成果となっている。

特記事項

V. 一 次 評 価（所管課）、二 次 評 価（庁内評価委員会）

区 分	評 価	評 価 選 択 理 由 / 今 後 の 方 向 性
一 次 評 価	継 続 【現状維持】	協会として積極的に新たな観光振興に対する事業計画が示された場合には町も積極的な支援が必要となる。
二 次 評 価		二次評価対象外

VI. 外部意見（興部町総合計画策定審議会）

--	--

VII. 総合評価（町長、副町長、教育長）

最 終 評 価	評 価 選 択 理 由 / 今 後 の 方 向 性

☆ 評 価

- (1) 継 続 **【現状維持】** ⇒ 事業内容、事業量に大きな変動がなく、予算増減が少ないもの
 (2) 継 続 **【拡 充】** ⇒ 事業内容、事業量に相当程度の変動があり、予算増を伴うもの
 (3) 継 続 **【縮 小】** ⇒ 事業内容、事業量に相当程度の変動があり、予算減を伴うもの
 (4) 継 続 **【統 合】** ⇒ 事業内容の類似する事業に統合し、この事業を廃止するもの

- (5) 終 了 ⇒ 単年度事業、期間満了による事業の終了
 (6) 休 止 ⇒ 隔年度での事業実施などによる事業の休止
 (7) 廃 止 ⇒ この事業を廃止するもの

平成23年度
平成22年度実施

事務事業評価調書

整理番号 4 - 6
作成年月日 H24. 7. 31
事業区分 ☒ 継続規 ☐ 新規

事務事業名 一般廃棄物処理施設整備事業（嵩上げ）

事業開始年度 平成20年度 住民参加 ☐ 有 関係例規・法令名 廃棄物処理法
事業終了年度 平成26年度 住民協働 ☒ 無 関係個別計画名

会計区分 一般会計 款 4. 衛生費 項 2. 清掃費 目 1. じん芥処理費

担 当 課 住民課 担 当 係 名 住民環境係 調書作成者職氏名 係長 菊地 毅

【第五期興部町総合計画】 ☒ 登載事業 ☐ 非登載事業 実施計画登載No 149

分 類	コード	名 称
基本目標	5	環境を守る“まちづくり”
施策項目	28	ごみ処理の充実
単位施策	1	ごみ処理対策

I. 事業計画

(1) 【事業の相手】	※ 何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのか具体的に記載して下さい。 一般廃棄物（ごみ）
(2) 【事業の概要】	※ 目指すべき姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載して下さい。 既存の一般廃棄物処理場・最終処分場における埋立容量（27,900m ³ ）に達した為、次期、広域（紋別市、滝上町、興部町、西興部村）処分場の供用開始まで既存処分場の嵩上げ（埋立容量41,100m ³ ）にて対応する。平成20年度には、全嵩上げ3段中1段目を完成させ、その1段目満杯後は、2段目（平成24年度予定）にて対応し、2段目も満杯後は、3段目（未定）の最終覆土を行い興部町におけるごみ埋立は、完了、閉鎖する。
(3) 【事業の成果】	※ 事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載して下さい。 既存の処分場については、平成8年から平成22年の15年間使用する予定であったが、諸般の事情により平成19年に埋立容量に達してしまった。そこで、広域ごみ処理が開始される平成24年度までの5年間分を既存施設の嵩上げを北海道に認めてもらい延命する事になったが、嵩上げの埋立容量が満杯になる平成24年以降についても、災害時を想定し受入が可能な状態を維持する。

II. 指 標【成果を判断する目標数値】

No	種 別	内 容	区 分	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
1	対象指標		目標値 実績値	人					
2	活動指標		目標値 実績値	回					
3	成果指標		目標値 実績値	千円					
4			目標値 実績値						

III. 事業費の推移 (単位：千円)

区 分	19年度 決 算	20年度 決 算	21年度 決 算	22年度 決 算	23年度 決 算	24年度 予 算	20～24年度 合 計
事業費(千円)	0	9,692	0	0	0	4,000	13,692
財源内訳							
国庫支出金							0
道支出金							0
地方債							0
その他							0
一般財源		9,692				4,000	13,692

IV. 担当課による事務事業の評価

区 分	チェック項目の説明（内容）等
1. 実施の妥当性 (1) 町の政策的な事業である。 ☒ (2) 公共性が高い事業である。 ☒ (3) 緊急性が高い事業である。 ☒ (4) 法令等により実施が義務付けられている。 ☒ (5) その他 【具体的に記載】 ☐	嵩上げ工事1段終了にて、ごみの受入をさせる事無く、町の責務を果たしている。
2. 経済性・効率性 (1) 費用に見合う効果がある。 ☐ (2) コスト削減の余地がある。 ☐ (3) 受益者負担の余地がある。 ☒ (4) 補助制度等活用の可能性がある。 ☐ (5) その他 【具体的に記載】 ☐	受益者負担金については、平成21年4月からごみ処理場の延命（排出抑制等）、又、分別の徹底（意識の向上等）を図ることを目的に一般廃棄物処理手数料（ごみ袋）の見直しを行なった。
3. 必要性 (1) 町民のニーズがある。（高い） ☒ (2) 事業を継続する必要がある。 ☒ (3) 類似事業との統合・再編の可能性がある。 ☐ (4) その他 【具体的に記載】 ☐	
4. 代替性 (1) 行政主体による実施が適当である。 ☒ (2) 民間委託等による実施が可能である。 ☐ (3) 住民協働（主体）による実施が可能である。 ☐ (4) その他 【具体的に記載】 ☐	一般廃棄物の適正処理は、町の責務である為、町による事業の継続は必要である。
5. 事業の達成度 (1) 期待どおりの成果があがっている。 ☐ (2) 概ね期待どおりの成果があがっている。 ☐ (3) 成果が不十分である。 ☐ (4) 事業の見直し等が必要である。 ☐ (5) その他 【具体的に記載】 ☐	

特記事項

V. 一 次 評 価（所管課）、二 次 評 価（庁内評価委員会）

区 分	評 価	評 価 選 択 理 由 / 今 後 の 方 向 性
一 次 評 価	継 続【拡 充】	広域処理施設完成までの間、埋立容量確保のため必要である。
二 次 評 価		二次評価対象外

VI. 外部意見（興部町総合計画策定審議会）

--	--

VII. 総合評価（町長、副町長、教育長）

最 終 評 価	評 価 選 択 理 由 / 今 後 の 方 向 性

☆ 評 価

- (1) 継 続【現状維持】⇒ 事業内容、事業量に大きな変動がなく、予算増減が少ないもの
 (2) 継 続【拡 充】⇒ 事業内容、事業量に相当程度の変動があり、予算増を伴うもの
 (3) 継 続【縮 小】⇒ 事業内容、事業量に相当程度の変動があり、予算減を伴うもの
 (4) 継 続【統 合】⇒ 事業内容の類似する事業に統合し、この事業を廃止するもの

- (5) 終 了 ⇒ 単年度事業、期間満了による事業の終了
 (6) 休 止 ⇒ 隔年度での事業実施などによる事業の休止
 (7) 廃 止 ⇒ この事業を廃止するもの

平成23年度
平成22年度実施

事務事業評価調書

整理番号	4 - 7
作成年月日	H24. 7. 31
事業区分	☒ 継続規 ☐ 新規

事務事業名 一般廃棄物処理施設整備事業（広域廃棄物処理施設建設）

事業開始年度	平成20年度	住民参加	☐ 有	関係例規・法令名	廃棄物処理法
事業終了年度	平成24年度	住民協働	☒ 無	関係個別計画名	

会計区分	一般会計	款	4. 衛生費	項	2. 清掃費	目	1. じん芥処理費
------	------	---	--------	---	--------	---	-----------

担当課	住民課	担当係名	住民環境係	調書作成者職氏名	係長 菊地 毅
-----	-----	------	-------	----------	---------

【第五期興部町総合計画】	☒ 登載事業	☐ 非登載事業	実施計画登載No	150
--------------	--	--------------------------------	----------	-----

分類	コード	名称
基本目標	5	環境を守る“まちづくり”
施策項目	28	ごみ処理の充実
単位施策	1	ごみ処理対策

I. 事業計画

(1) 【事業の相手】	※ 何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのか具体的に記載して下さい。 広域（紋別市・滝上町・興部町・西興部村）における一般廃棄物（ごみ）処理場建設
(2) 【事業の概要】	※ 目指すべき姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載して下さい。 西紋別地区環境衛生施設組合を事業主体に循環型社会形成推進交付金の制度を活用し経済的、又、効率的な施設を建設する。
(3) 【事業の成果】	※ 事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載して下さい。 平成24年度供用開始に向けた取組

II. 指標【成果を判断する目標数値】

No	種別	内 容	区分	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
1	対象指標		目標値 実績値	人					
2	活動指標		目標値 実績値	回					
3	成果指標		目標値 実績値	千円					
4			目標値 実績値						

III. 事業費の推移

(単位：千円)

区 分	19年度 決 算	20年度 決 算	21年度 決 算	22年度 決 算	23年度 決 算	24年度 予 算	20～24年度 合 計
事業費(千円)	0	2,950	7,849	7,204	17,324	41,487	76,814
財源内訳							
国庫支出金							0
道支出金							0
地方債							0
その他							0
一般財源		2,950	7,849	7,204	17,324	41,487	76,814

IV. 担当課による事務事業の評価

区 分	チェック項目の説明（内容）等
1. 実施の妥当性 (1) 町の政策的な事業である。 ☒ (2) 公共性が高い事業である。 ☒ (3) 緊急性が高い事業である。 ☒ (4) 法令等により実施が義務付けられている。 ☒ (5) その他 【具体的に記載】 ☐	市町村は、一般廃棄物の適正な処理に必要な措置を講ずるよう努めるとされていることから、町民等から排出され一般ごみ（可燃・不燃ごみ）を処理する。
2. 経済性・効率性 (1) 費用に見合う効果がある。 ☒ (2) コスト削減の余地がある。 ☒ (3) 受益者負担の余地がある。 ☒ (4) 補助制度等活用の可能性がある。 ☒ (5) その他 【具体的に記載】 ☐	西紋別地区環境衛生施設組合を事業主体に循環型社会形成推進交付金の制度を活用し経済的、又、効率的な施設を建設する。各市町村の負担割合もごみ処理量割とする。
3. 必要性 (1) 町民のニーズがある。（高い） ☒ (2) 事業を継続する必要がある。 ☒ (3) 類似事業との統合・再編の可能性がある。 ☒ (4) その他 【具体的に記載】 ☐	一般廃棄物の処理については、市町村の責務であり、ニーズや社会情勢等に関係なく処理していかなければならない。
4. 代替性 (1) 行政主体による実施が適当である。 ☒ (2) 民間委託等による実施が可能である。 ☒ (3) 住民協働（主体）による実施が可能である。 ☐ (4) その他 【具体的に記載】 ☐	事業主体を西紋別地区環境衛生施設組合として行う。
5. 事業の達成度 (1) 期待どおりの成果があがっている。 ☒ (2) 概ね期待どおりの成果があがっている。 ☐ (3) 成果が不十分である。 ☐ (4) 事業の見直し等が必要である。 ☐ (5) その他 【具体的に記載】 ☐	

特記事項

V. 一 次 評 価（所管課）、二 次 評 価（庁内評価委員会）

区 分	評 価	評 価 選 択 理 由 / 今 後 の 方 向 性
一 次 評 価	継 続【拡 充】	平成24年度完成のため。
二 次 評 価		二次評価対象外

VI. 外部意見（興部町総合計画策定審議会）

--	--

VII. 総合評価（町長、副町長、教育長）

最 終 評 価	評 価 選 択 理 由 / 今 後 の 方 向 性

☆ 評 価

- (1) 継 続【現状維持】⇒ 事業内容、事業量に大きな変動がなく、予算増減が少ないもの
 (2) 継 続【拡 充】⇒ 事業内容、事業量に相当程度の変動があり、予算増を伴うもの
 (3) 継 続【縮 小】⇒ 事業内容、事業量に相当程度の変動があり、予算減を伴うもの
 (4) 継 続【統 合】⇒ 事業内容の類似する事業に統合し、この事業を廃止するもの

- (5) 終 了 ⇒ 単年度事業、期間満了による事業の終了
 (6) 休 止 ⇒ 隔年度での事業実施などによる事業の休止
 (7) 廃 止 ⇒ この事業を廃止するもの

平成23年度
平成22年度実施

事務事業評価調書

整理番号 4 - 8
作成年月日 H24. 7. 31
事業区分 ☒ 継続 ☐ 新規

事務事業名 じん芥処理事業

事業開始年度 平成20年度 住民参加 ☐ 有 関係例規・法令名 廃棄物処理法
事業終了年度 平成24年度 住民協働 ☒ 無 関係個別計画名 一般廃棄物処理計画

会計区分 一般会計 款 4. 衛生費 項 2. 清掃費 目 1. じん芥処理費

担当課 住民課 担当係名 住民環境係 調書作成者職氏名 係長 菊地 毅

【第五期興部町総合計画】 ☒ 登載事業 ☐ 非登載事業 実施計画登載No 151

分類	コード	名称
基本目標	5	環境を守る“まちづくり”
施策項目	28	ごみ処理の充実
単位施策	1	ごみ処理対策

I. 事業計画

(1) 事業の相手	※ 何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのか具体的に記載して下さい。 一般廃棄物（ごみ）
(2) 事業の概要	※ 目指すべき姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載して下さい。 一般廃棄物を生活環境の保全上支障が生じないうちに収集し、これを運搬及び処分する。 （廃棄物の排出抑制と再利用の促進）
(3) 事業の成果 目指す姿	※ 事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載して下さい。 生活環境を清潔にすることにより、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図り、町民の健康と快適な生活を確保する。

II. 指標【成果を判断する目標数値】

No	種別	内 容	区分	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
1	対象指標		目標値 実績値	人					
2	活動指標		目標値 実績値	回					
3	成果指標		目標値 実績値	千円					
4			目標値 実績値						

III. 事業費の推移 (単位：千円)

区 分	19年度 決 算	20年度 決 算	21年度 決 算	22年度 決 算	23年度 決 算	24年度 予 算	20～24年度 合 計
事業費(千円)	36,573	41,420	34,665	29,915	38,484	36,788	181,272
財源内訳							
国庫支出金							0
道支出金							0
地方債							0
その他	8,826	11,751	6,214	7,702	8,437	8,532	42,636
一般財源	27,747	29,669	28,451	22,213	30,047	28,256	138,636

IV. 担当課による事務事業の評価

区 分	チェック項目の説明（内容）等
1. 実施の妥当性 (1) 町の政策的な事業である。 ☒ (2) 公共性が高い事業である。 ☒ (3) 緊急性が高い事業である。 ☒ (4) 法令等により実施が義務付けられている。 ☒ (5) その他 【具体的に記載】 ☐	町民の健康で快適な生活を確保することを目的として一般廃棄物の排出抑制と再生利用を促進し、その適正処理を図り、生活環境を清潔にすることにより生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図り、町民の快適な生活を確保すること。
2. 経済性・効率性 (1) 費用に見合う効果がある。 ☐ (2) コスト削減の余地がある。 ☐ (3) 受益者負担の余地がある。 ☒ (4) 補助制度等活用の可能性がある。 ☐ (5) その他 【具体的に記載】 ☐	受益者負担金については、平成21年4月からごみ処理場の延命（排出抑制等）、又、分別の徹底（意識の向上等）を図ることを目的に一般廃棄物処理手数料（ごみ袋）の見直しを行なった。
3. 必要性 (1) 町民のニーズがある。（高い） ☒ (2) 事業を継続する必要がある。 ☒ (3) 類似事業との統合・再編の可能性がある。 ☐ (4) その他 【具体的に記載】 ☐	一般廃棄物の適正処理は町の責務である為、町による事業の継続は必要である。
4. 代替性 (1) 行政主体による実施が適当である。 ☒ (2) 民間委託等による実施が可能である。 ☒ (3) 住民協働（主体）による実施が可能である。 ☐ (4) その他 【具体的に記載】 ☐	現在、収集及び施設の管理を委託しており経済的効果をあげている。
5. 事業の達成度 (1) 期待どおりの成果があがっている。 ☒ (2) 概ね期待どおりの成果があがっている。 ☐ (3) 成果が不十分である。 ☐ (4) 事業の見直し等が必要である。 ☐ (5) その他 【具体的に記載】 ☐	平成21年度から一般廃棄物の排出抑制を図るべく手数料（有料袋等）の見直しを行い、さらに一般ごみを見直し生ごみを新たに分別した。

特記事項

V. 一 次 評 価（所管課）、二 次 評 価（庁内評価委員会）

区 分	評 価	評 価 選 択 理 由 / 今 後 の 方 向 性
一 次 評 価	継 続 【現状維持】	手数料（有料袋）の見直し、又、生ごみの分別を平成21年4月に行った為。
二 次 評 価	継 続 【現状維持】	当分の間は手数料等の見直しは行わず、町民の快適な生活を確保するため継続すべきであるので、一次評価のとおりとする。

VI. 外部意見（興部町総合計画策定審議会）

--	--

VII. 総合評価（町長、副町長、教育長）

最 終 評 価	評 価 選 択 理 由 / 今 後 の 方 向 性
継 続 【現状維持】	

☆ 評 価

- (1) 継 続【現状維持】⇒ 事業内容、事業量に大きな変動がなく、予算増減が少ないもの
 (2) 継 続【拡 充】⇒ 事業内容、事業量に相当程度の変動があり、予算増を伴うもの
 (3) 継 続【縮 小】⇒ 事業内容、事業量に相当程度の変動があり、予算減を伴うもの
 (4) 継 続【統 合】⇒ 事業内容の類似する事業に統合し、この事業を廃止するもの

- (5) 終 了 ⇒ 単年度事業、期間満了による事業の終了
 (6) 休 止 ⇒ 隔年度での事業実施などによる事業の休止
 (7) 廃 止 ⇒ この事業を廃止するもの

平成23年度
平成22年度実施

事務事業評価調書

整理番号 4 - 9
作成年月日 H24. 7. 31
事業区分 ☒ 継続 ☐ 新規

事務事業名 資源リサイクル事業

事業開始年度 平成20年度 住民参加 ☒ 有 関係例規・法令名 興部町ごみ分別収集計画
事業終了年度 平成24年度 住民協働 ☐ 無 関係個別計画名 興部町ごみ減量化対策補助要綱

会計区分 一般会計 款 4. 衛生費 項 2. 清掃費 目 1. じん芥処理費

担当課 住民課 担当係名 住民環境係 調書作成者職氏名 係長 菊地 毅

【第五期興部町総合計画】 ☒ 登載事業 ☐ 非登載事業 実施計画登載No 153

分類	コード	名 称
基本目標	5	環境を守る“まちづくり”
施策項目	28	ごみ処理の充実
単位施策	2	ごみ減量化対策

I. 事業計画

(1) 対象	※ 何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのか具体的に記載して下さい。 町民による生ごみ・容器包装ごみ対策 ディスポーザー・ごみ堆肥化容器・生ごみ処理機
(2) 手段	※ 目指すべき姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載して下さい。 ・家庭用厨芥類の処理を促進し、ごみ減量化を図るため生ごみ処理機を購入する者に対し、購入に必要な経費を補助する。 ・有料ごみ袋についても、廃棄物の排出を抑制し再利用を促進すると共に、廃棄物を適正に処理し、併せて生活環境を清潔にすることにより、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図り、町民の健康で快適な生活を確保する。
(3) 目指す姿	※ 事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載して下さい。 ・一般廃棄物の排出抑制（減量化） ・ごみ分別による再生利用 ・最終処分場の延命

II. 指 標【成果を判断する目標数値】

No	種 別	内 容	区 分	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
1	対象指標	ディスポーザー	目標値	台		45	47	46	
			実績値	千円		2,677	2,808	2,757	
2	活動指標	コンポスト	目標値	台	2	34	10		
			実績値	千円	6	163	48		
3	成果指標	生ごみ処理機	目標値	台	1	54	8	5	
			実績値	千円	25	2,880	444	276	
4			目標値						
			実績値						

III. 事業費の推移 (単位：千円)

区 分	19年度 決 算	20年度 決 算	21年度 決 算	22年度 決 算	23年度 決 算	24年度 予 算	20～24年度 合 計
事業費(千円)	6,634	6,810	12,011	9,957	10,499	11,556	50,833
財源内訳							
国庫支出金							0
道支出金							0
地方債							0
その他	4,321	5,816	2,526	3,130	3,429	3,468	18,369
一般財源	2,313	994	9,485	6,827	7,070	8,088	32,464

IV. 担当課による事務事業の評価

区 分	チェック項目の説明（内容）等
1. 実施の妥当性 (1) 町の政策的な事業である。 ☒ (2) 公共性が高い事業である。 ☒ (3) 緊急性が高い事業である。 ☐ (4) 法令等により実施が義務付けられている。 ☐ (5) その他 【具体的に記載】 ☐	町民の責務により廃棄物の排出抑制、再利用、分別排出し、その生じた廃棄物をなるべく自ら処分することになっている事から廃棄物の減容を行い、町の施策に協力することになっている。
2. 経済性・効率性 (1) 費用に見合う効果がある。 ☒ (2) コスト削減の余地がある。 ☐ (3) 受益者負担の余地がある。 ☒ (4) 補助制度等活用の可能性がある。 ☐ (5) その他 【具体的に記載】 ☐	容器包装ごみ等の指定袋については、既に受益者負担を行っている。
3. 必要性 (1) 町民のニーズがある。（高い） ☐ (2) 事業を継続する必要がある。 ☒ (3) 類似事業との統合・再編の可能性がある。 ☐ (4) その他 【具体的に記載】 ☐	生ごみ堆肥化容器、処理機の補助事業については、冬期の使用に問題があり申請も少なかったが平成21年度からディスプレイを追加し制度の拡充を図った。
4. 代替性 (1) 行政主体による実施が適当である。 ☒ (2) 民間委託等による実施が可能である。 ☒ (3) 住民協働（主体）による実施が可能である。 ☐ (4) その他 【具体的に記載】 ☐	指定ごみ袋の販売等は、商工会に委託しており経済的な効果は図られている。
5. 事業の達成度 (1) 期待どおりの成果があがっている。 ☐ (2) 概ね期待どおりの成果があがっている。 ☒ (3) 成果が不十分である。 ☐ (4) 事業の見直し等が必要である。 ☐ (5) その他 【具体的に記載】 ☐	今後も、家庭での生ごみ処理は、ごみの減容、再利用の観点からも重要である。有料袋についても、受益者負担の観点からも受ける利益により負担が平等であり、抑制の効果があると思われる。

特記事項

V. 一 次 評 価（所管課）、二 次 評 価（庁内評価委員会）

区 分	評 価	評 価 選 択 理 由 / 今 後 の 方 向 性
一 次 評 価	継 続 【現状維持】	一般廃棄物のうち、資源等となるものを分別収集し、埋立する廃棄物の排出抑制を推進するため。
二 次 評 価	継 続 【現状維持】	廃棄物の排出抑制・再利用等は重要であるので、一次評価のとおりとす。

VI. 外部意見（興部町総合計画策定審議会）

--	--

VII. 総合評価（町長、副町長、教育長）

最 終 評 価	評 価 選 択 理 由 / 今 後 の 方 向 性
継 続 【現状維持】	

☆ 評 価

- (1) 継 続 **【現状維持】** ⇒ 事業内容、事業量に大きな変動がなく、予算増減が少ないもの
 (2) 継 続 **【拡 充】** ⇒ 事業内容、事業量に相当程度の変動があり、予算増を伴うもの
 (3) 継 続 **【縮 小】** ⇒ 事業内容、事業量に相当程度の変動があり、予算減を伴うもの
 (4) 継 続 **【統 合】** ⇒ 事業内容の類似する事業に統合し、この事業を廃止するもの

- (5) 終 了 ⇒ 単年度事業、期間満了による事業の終了
 (6) 休 止 ⇒ 隔年度での事業実施などによる事業の休止
 (7) 廃 止 ⇒ この事業を廃止するもの

平成23年度
平成22年度実施

事務事業評価調書

整理番号 4 - 10
作成年月日 H24. 7. 31

事務事業名 興部町環境活動推進事業

事業区分 ☐ 継続 ☒ 新規

事業開始年度 平成22年度 住民参加 ☒ 有 関係例規・法令名
事業終了年度 平成24年度 住民協働 ☐ 無 関係個別計画名

会計区分 一般会計 款 4. 衛生費 項 1. 保健衛生費 目 4. 環境衛生費

担当課 住民課 担当係名 住民環境係 調書作成者職氏名 係長 菊地 毅

【第五期興部町総合計画】 ☐ 登載事業 ☒ 非登載事業 実施計画登載No 191

分類	コード	名 称
基本目標	5	環境を守る“まちづくり”
施策項目	26	環境の保全
単位施策	2	きれいな環境づくりの推進

I. 事業計画

(1) 事業の相手	※ 何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのか具体的に記載して下さい。 自治会及び団体（10人以上）における環境活動の協力
(2) 事業の概要	※ 目指すべき姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載して下さい。 自治会及び団体（10人以上）における環境活動に奨励金を交付 ・地域における定期的及び臨時的な資源回収事業 ・ごみ分別及び環境に関する学習事業 ・地区内における公共用地の清掃活動 奨励金 1自治会、1団体 最大20,000円
(3) 事業の成果 目指す姿	※ 事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載して下さい。 生活環境及び公衆衛生の向上に資するため、環境活動を行う自治会及び団体に奨励金の交付を行い、地域環境活動の推進を図る。

II. 指標【成果を判断する目標数値】

No	種 別	内 容	区 分	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
1	対象指標	実績 資源回収	目標値 実績値	件 千円			28 112	31 124	
2	活動指標	実績 学習事業	目標値 実績値	件 千円			3 12	2 8	
3	成果指標	実績 環境パトロール	目標値 実績値	件 千円			2 8	1 4	
4	成果指標	実績 清掃活動	目標値 実績値	件 千円			14 56	14 56	

III. 事業費の推移 (単位：千円)

区 分	19年度 決 算	20年度 決 算	21年度 決 算	22年度 決 算	23年度 決 算	24年度 予 算	20～24年度 合 計
事業費(千円)	0	0	0	132	192	300	624
財源内訳							
国庫支出金							0
道支出金							0
地方債							0
その他				1,714	192	300	2,206
一般財源				△ 1,582			△ 1,582

IV. 担当課による事務事業の評価

区 分	チェック項目の説明（内容）等
1. 実施の妥当性 (1) 町の政策的な事業である。 ☒ (2) 公共性が高い事業である。 ☐ (3) 緊急性が高い事業である。 ☐ (4) 法令等により実施が義務付けられている。 ☐ (5) その他 【具体的に記載】 ☐	町民の環境活動の意識向上と実践的な取組に対するの奨励金である。
2. 経済性・効率性 (1) 費用に見合う効果がある。 ☒ (2) コスト削減の余地がある。 ☐ (3) 受益者負担の余地がある。 ☐ (4) 補助制度等活用可能性がある。 ☐ (5) その他 【具体的に記載】 ☐	目に見える経済的な効果は期待できないが、ごみに対するリサイクル等の意識向上となる。
3. 必要性 (1) 町民のニーズがある。（高い） ☒ (2) 事業を継続する必要がある。 ☒ (3) 類似事業との統合・再編の可能性がある。 ☐ (4) その他 【具体的に記載】 ☐	2. 経済性、効率性 のとおり
4. 代替性 (1) 行政主体による実施が適当である。 ☒ (2) 民間委託等による実施が可能である。 ☐ (3) 住民協働（主体）による実施が可能である。 ☐ (4) その他 【具体的に記載】 ☐	
5. 事業の達成度 (1) 期待どおりの成果があがっている。 ☐ (2) 概ね期待どおりの成果があがっている。 ☐ (3) 成果が不十分である。 ☒ (4) 事業の見直し等が必要である。 ☐ (5) その他 【具体的に記載】 ☐	資源回収は、31申請中、17自治会と12団体からの奨励金申請である。 今後は、もっと沢山の自治会、団体からの申請があるように啓蒙を行う。

特記事項

V. 一 次 評 価（所管課）、二 次 評 価（庁内評価委員会）

区 分	評 価	評 価 選 択 理 由 / 今 後 の 方 向 性
一 次 評 価	継 続 【現状維持】	環境活動の取り組みに対する奨励金は必要。
二 次 評 価	継 続 【現状維持】	地域での環境活動の推進と、リサイクル等の意識向上のためにも奨励金は継続すべきであるので、一次評価のとおりとする。

VI. 外部意見（興部町総合計画策定審議会）

--	--

VII. 総合評価（町長、副町長、教育長）

最 終 評 価	評 価 選 択 理 由 / 今 後 の 方 向 性

☆ 評 価

- (1) 継 続 【現状維持】 ⇒ 事業内容、事業量に大きな変動がなく、予算増減が少ないもの
 (2) 継 続 【拡 充】 ⇒ 事業内容、事業量に相当程度の変動があり、予算増を伴うもの
 (3) 継 続 【縮 小】 ⇒ 事業内容、事業量に相当程度の変動があり、予算減を伴うもの
 (4) 継 続 【統 合】 ⇒ 事業内容の類似する事業に統合し、この事業を廃止するもの

- (5) 終 了 ⇒ 単年度事業、期間満了による事業の終了
 (6) 休 止 ⇒ 隔年度での事業実施などによる事業の休止
 (7) 廃 止 ⇒ この事業を廃止するもの

平成23年度
平成22年度実施

事務事業評価調書

整理番号 4 - 11
作成年月日 H24. 7. 31
事業区分 ☒ 継続 ☐ 新規

事務事業名 生活排水処理事業（合併浄化槽設置整備）

事業開始年度 平成22年度 住民参加 ☐ 有 関係例規・法令名 墓地、埋葬等に関する法律
事業終了年度 平成24年度 住民協働 ☐ 無 関係個別計画名 興部町火葬場条例

会計区分 一般会計 款 4. 衛生費 項 1. 保健衛生費 目 4. 環境衛生費

担当課 住民課 担当係名 住民環境係 調書作成者職氏名 係長 菊地 毅

【第五期興部町総合計画】 ☒ 登載事業 ☐ 非登載事業 実施計画登載No 154

分類	コード	名称
基本目標	5	環境を守る“まちづくり”
施策項目	29	環境衛生の充実
単位施策	1	し尿処理対策

I. 事業計画

(1) 対象	【事業の相手】 ※ 何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのか具体的に記載して下さい。 下水道計画区域外の生活雑排水による公共水域の水質汚濁防止、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を国定
(2) 手段	【事業の概要】 ※ 目指すべき姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載して下さい。 下水道区域外への合併処理浄化槽未設置世帯に合併処理浄化槽を普及させる為、設置する者に補助金を交付する。【補助金の額】補助金の額は、次に掲げる補助基準額に4分の3を乗じて得た金額以内。 5人槽 939千円 700千円 7人槽 1,095千円 820千円 10人槽 1,202千円 1,040千円
(3) 目指す姿	【事業の成果】 ※ 事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載して下さい。 下水道計画区域外での生活雑排水等による公共用水域の水質汚濁を防止し、生活環境の保全及び公衆衛生の向上

II. 指標【成果を判断する目標数値】

No	種別	内 容	区分	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
1	対象指標	実績	目標値 実績値	件				7	5
2	活動指標		目標値 実績値	回					
3	成果指標		目標値 実績値	千円					
4			目標値 実績値						

III. 事業費の推移 (単位：千円)

区分	19年度 決算	20年度 決算	21年度 決算	22年度 決算	23年度 決算	24年度 見込	20～24年度 合計
事業費(千円)	0	0	0	5,840	3,620	3,500	12,960
財源内訳							
国庫支出金							0
道支出金							0
地方債							0
その他							0
一般財源				5,840	3,620	3,500	12,960

IV. 担当課による事務事業の評価

区 分	チェック項目の説明（内容）等
1. 実施の妥当性 (1) 町の政策的な事業である。 ☒ (2) 公共性が高い事業である。 ☒ (3) 緊急性が高い事業である。 ☐ (4) 法令等により実施が義務付けられている。 ☐ (5) その他 【具体的に記載】 ☒	興部町生活排水処理計画（平成15年3月）策定により、計画策定年度（平成14年度）から平成30年度までに生活排水処理率93%を目指すとしている。
2. 経済性・効率性 (1) 費用に見合う効果がある。 ☐ (2) コスト削減の余地がある。 ☐ (3) 受益者負担の余地がある。 ☐ (4) 補助制度等活用の可能性がある。 ☒ (5) その他 【具体的に記載】 ☐	国からの補助金を活用することも必要
3. 必要性 (1) 町民のニーズがある。（高い） ☐ (2) 事業を継続する必要がある。 ☒ (3) 類似事業との統合・再編の可能性がある。 ☐ (4) その他 【具体的に記載】 ☐	町民のニーズ調査は行っていないが、今後、調査は必要と考える。ニーズが少なくとも施策として進める必要がある。
4. 代替性 (1) 行政主体による実施が適当である。 ☒ (2) 民間委託等による実施が可能である。 ☐ (3) 住民協働（主体）による実施が可能である。 ☐ (4) その他 【具体的に記載】 ☐	
5. 事業の達成度 (1) 期待どおりの成果があがっている。 ☐ (2) 概ね期待どおりの成果があがっている。 ☒ (3) 成果が不十分である。 ☐ (4) 事業の見直し等が必要である。 ☐ (5) その他 【具体的に記載】 ☐	例年1件程度の合併処理浄化槽の設置も、平成22年度から補助事業を開始し、12件の補助を行なった。

特記事項

V. 一 次 評 価（所管課）、二 次 評 価（庁内評価委員会）

区 分	評 価	評 価 選 択 理 由 / 今 後 の 方 向 性
一 次 評 価	継 続 【現状維持】	生活環境の保全及び公衆衛生の向上の為、今後も必要である。
二 次 評 価	継 続 【現状維持】	国の補助制度の活用等も検討しながら、生活環境の保全及び公衆衛生の向上のため必要であるので、一次評価のとおりとする。

VI. 外部意見（興部町総合計画策定審議会）

--	--

VII. 総合評価（町長、副町長、教育長）

最 終 評 価	評 価 選 択 理 由 / 今 後 の 方 向 性
継 続 【現状維持】	

☆ 評 価

- (1) 継 続 **【現状維持】** ⇒ 事業内容、事業量に大きな変動がなく、予算増減が少ないもの
 (2) 継 続 **【拡 充】** ⇒ 事業内容、事業量に相当程度の変動があり、予算増を伴うもの
 (3) 継 続 **【縮 小】** ⇒ 事業内容、事業量に相当程度の変動があり、予算減を伴うもの
 (4) 継 続 **【統 合】** ⇒ 事業内容の類似する事業に統合し、この事業を廃止するもの

- (5) 終 了 ⇒ 単年度事業、期間満了による事業の終了
 (6) 休 止 ⇒ 隔年度での事業実施などによる事業の休止
 (7) 廃 止 ⇒ この事業を廃止するもの

平成23年度

平成22年度実施

事務事業評価調書

整理番号 4 - 12

作成年月日 H24. 7. 31

事務事業名 火葬場 斎場 施設改修事業

事業区分 ☒ 継続 ☐ 新規

事業開始年度 平成20年度

住民参加

☐ 有

関係例規・法令名

事業終了年度 平成24年度

住民協働

☒ 無

関係個別計画名

会計区分 一般会計

款

4. 衛生費

項

1. 保健衛生費

目

4. 環境衛生費

担 当 課 住民課

担 当 係 名

住民環境係

調書作成者職氏名

係長 菊地 毅

【第五期興部町総合計画】

☒ 登載事業☐ 非登載事業

実施計画登載No

156

分 類	コード	名 称
基本目標	5	環境を守る“まちづくり”
施策項目	29	環境衛生の充実
単位施策	3	墓地・火葬場の整備

I. 事業計画

(1) 【事業の相手】	※ 何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのか具体的に記載して下さい。 火葬場の維持
(2) 【事業の概要】	※ 目指すべき姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載して下さい。 昭和56年に建設された施設・設備も老朽化しており、施設を安心して使用する為、修繕計画を立て毎年度修繕を行う。
(3) 【事業の成果】	※ 事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載して下さい。 火葬炉が停止等しないよう正常な状態の維持に努める。

II. 指 標【成果を判断する目標数値】

No	種 別	内 容	区 分	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
1	対象指標		目標値 実績値	人					
2	活動指標		目標値 実績値	回					
3	成果指標		目標値 実績値	千円					
4			目標値 実績値						

III. 事業費の推移

(単位：千円)

区 分	19年度 決 算	20年度 決 算	21年度 決 算	22年度 決 算	23年度 決 算	24年度 見 込	20～24年度 合 計
事業費(千円)	0	3,300	0	5,775	6,342	3,902	19,329
財源内訳							
国庫支出金				5,391			5,391
道支出金							0
地方債							0
その他							0
一般財源		3,300		394	6,342	3,902	13,938

IV. 担当課による事務事業の評価

区 分	チェック項目の説明（内容）等
1. 実施の妥当性 (1) 町の政策的な事業である。 ☒ (2) 公共性が高い事業である。 ☒ (3) 緊急性が高い事業である。 ☒ (4) 法令等により実施が義務付けられている。 ☒ (5) その他 【具体的に記載】 ☐	火葬場の管理（死体を葬るために、これを焼くこと）は、国民の宗教的感情に適合し、且つ公衆衛生その他公共の福祉の見地から、支障なく行われることを目的とする。
2. 経済性・効率性 (1) 費用に見合う効果がある。 ☐ (2) コスト削減の余地がある。 ☐ (3) 受益者負担の余地がある。 ☐ (4) 補助制度等活用可能性がある。 ☐ (5) その他 【具体的に記載】 ☐	火葬業務については、委託にて行い事業コストの低減を図っている。今後については、施設の老朽化による建て替えも想定され、その時には、広域による火葬業務の集約も必要と思われる。
3. 必要性 (1) 町民のニーズがある。（高い） ☐ (2) 事業を継続する必要がある。 ☒ (3) 類似事業との統合・再編の可能性ある。 ☐ (4) その他 【具体的に記載】 ☐	火葬は、ニーズや社会情勢に関係なく必要である。
4. 代替性 (1) 行政主体による実施が適当である。 ☒ (2) 民間委託等による実施が可能である。 ☐ (3) 住民協働（主体）による実施が可能である。 ☐ (4) その他 【具体的に記載】 ☐	民間営業に適していない為、代替制なし
5. 事業の達成度 (1) 期待どおりの成果があがっている。 ☒ (2) 概ね期待どおりの成果があがっている。 ☐ (3) 成果が不十分である。 ☐ (4) 事業の見直し等が必要である。 ☐ (5) その他 【具体的に記載】 ☐	老朽した施設のため、計画的に修繕を行い現状維持にて施設を運営していく。

特記事項

V. 一 次 評 価（所管課）、二 次 評 価（庁内評価委員会）

区 分	評 価	評 価 選 択 理 由 / 今 後 の 方 向 性
一 次 評 価	継 続 【現状維持】	現在の状態を維持するのに必要。
二 次 評 価		二次評価対象外

VI. 外部意見（興部町総合計画策定審議会）

--	--

VII. 総合評価（町長、副町長、教育長）

最 終 評 価	評 価 選 択 理 由 / 今 後 の 方 向 性

☆ 評 価

- (1) 継 続 **【現状維持】** ⇒ 事業内容、事業量に大きな変動がなく、予算増減が少ないもの
 (2) 継 続 **【拡 充】** ⇒ 事業内容、事業量に相当程度の変動があり、予算増を伴うもの
 (3) 継 続 **【縮 小】** ⇒ 事業内容、事業量に相当程度の変動があり、予算減を伴うもの
 (4) 継 続 **【統 合】** ⇒ 事業内容の類似する事業に統合し、この事業を廃止するもの

- (5) 終 了 ⇒ 単年度事業、期間満了による事業の終了
 (6) 休 止 ⇒ 隔年度での事業実施などによる事業の休止
 (7) 廃 止 ⇒ この事業を廃止するもの

平成23年度
平成22年度実施

事務事業評価調書

整理番号 4 - 13
作成年月日 H24. 7. 31
事業区分 ☒ 継続 ☐ 新規

事務事業名 霊園管理事業

事業開始年度 平成20年度 住民参加 ☐ 有 関係例規・法令名
事業終了年度 平成24年度 住民協働 ☒ 無 関係個別計画名

会計区分 一般会計 款 4. 衛生費 項 1. 保健衛生費 目 4. 環境衛生費

担当課 住民課 担当係名 住民環境係 調書作成者職氏名 係長 菊地 毅

【第五期興部町総合計画】 ☒ 登載事業 ☐ 非登載事業 実施計画登載No 157

分類	コード	名称
基本目標	5	環境を守る“まちづくり”
施策項目	29	環境衛生の充実
単位施策	3	墓地・火葬場の整備

I. 事業計画

(1) 事業の相手	※ 何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのか具体的に記載して下さい。 興部霊園の環境維持
(2) 事業の概要	※ 目指すべき姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載して下さい。 草刈年3回 15,600㎡
(3) 事業の成果 目指す姿	※ 事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載して下さい。 興部霊園の適正な管理

II. 指標【成果を判断する目標数値】

No	種別	内 容	区分	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
1	対象指標		目標値 実績値	人					
2	活動指標		目標値 実績値	回					
3	成果指標		目標値 実績値	千円					
4			目標値 実績値						

III. 事業費の推移 (単位：千円)

区分	19年度 決 算	20年度 決 算	21年度 決 算	22年度 決 算	23年度 決 算	24年度 予 算	20～24年度 合 計
事業費(千円)	2,056	1,855	1,856	1,844	1,831	1,845	9,231
財源内訳							
国庫支出金							0
道支出金							0
地方債							0
その他	120	120	125	125	60	60	490
一般財源	1,936	1,735	1,731	1,719	1,771	1,785	8,741

IV. 担当課による事務事業の評価

区 分	チェック項目の説明（内容）等
1. 実施の妥当性 (1) 町の政策的な事業である。 ☒ (2) 公共性が高い事業である。 ☒ (3) 緊急性が高い事業である。 ☐ (4) 法令等により実施が義務付けられている。 ☐ (5) その他 【具体的に記載】 ☐	霊園の清潔、霊園利用者の利便性の考慮
2. 経済性・効率性 (1) 費用に見合う効果がある。 ☐ (2) コスト削減の余地がある。 ☐ (3) 受益者負担の余地がある。 ☒ (4) 補助制度等活用の可能性がある。 ☐ (5) その他 【具体的に記載】 ☐	墓地使用料については、安価にて今後検討が必要と思われる。
3. 必要性 (1) 町民のニーズがある。（高い） ☐ (2) 事業を継続する必要がある。 ☒ (3) 類似事業との統合・再編の可能性がある。 ☐ (4) その他 【具体的に記載】 ☐	
4. 代替性 (1) 行政主体による実施が適当である。 ☒ (2) 民間委託等による実施が可能である。 ☐ (3) 住民協働（主体）による実施が可能である。 ☐ (4) その他 【具体的に記載】 ☐	霊園維持管理については、民間委託にて経済的・効果的に運営している。
5. 事業の達成度 (1) 期待どおりの成果があがっている。 ☒ (2) 概ね期待どおりの成果があがっている。 ☐ (3) 成果が不十分である。 ☐ (4) 事業の見直し等が必要である。 ☐ (5) その他 【具体的に記載】 ☐	清潔を保ち町民がいつでも気持ち良く利用できるよう現状維持に努める。

特記事項

V. 一 次 評 価（所管課）、二 次 評 価（庁内評価委員会）

区 分	評 価	評 価 選 択 理 由 / 今 後 の 方 向 性
一 次 評 価	継 続 【現状維持】	清潔に保ち、こころよく使用してもらうため。
二 次 評 価		二次評価対象外

VI. 外部意見（興部町総合計画策定審議会）

--	--

VII. 総合評価（町長、副町長、教育長）

最 終 評 価	評 価 選 択 理 由 / 今 後 の 方 向 性

☆ 評 価

- (1) 継 続 **【現状維持】** ⇒ 事業内容、事業量に大きな変動がなく、予算増減が少ないもの
 (2) 継 続 **【拡 充】** ⇒ 事業内容、事業量に相当程度の変動があり、予算増を伴うもの
 (3) 継 続 **【縮 小】** ⇒ 事業内容、事業量に相当程度の変動があり、予算減を伴うもの
 (4) 継 続 **【統 合】** ⇒ 事業内容の類似する事業に統合し、この事業を廃止するもの

- (5) 終 了 ⇒ 単年度事業、期間満了による事業の終了
 (6) 休 止 ⇒ 隔年度での事業実施などによる事業の休止
 (7) 廃 止 ⇒ この事業を廃止するもの

平成23年度
平成22年度実施

事務事業評価調書

整理番号 4 - 14
作成年月日 H24. 7. 31
事業区分 ☒ 継続規
☐ 新規

事務事業名 火葬場 斎場 管理事業

事業開始年度 平成20年度 住民参加 ☐ 有 関係例規・法令名
事業終了年度 平成24年度 住民協働 ☒ 無 関係個別計画名

会計区分 一般会計 款 4. 衛生費 項 1. 保健衛生費 目 4. 環境衛生費

担当課 住民課 担当係名 住民環境係 調書作成者職氏名 係長 菊地 毅

【第五期興部町総合計画】 ☒ 登載事業 ☐ 非登載事業 実施計画登載No 158

分類	コード	名称
基本目標	5	環境を守る“まちづくり”
施策項目	29	環境衛生の充実
単位施策	3	墓地・火葬場の整備

I. 事業計画

(1) 事業の相手	※ 何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのか具体的に記載して下さい。 火葬場の運営
(2) 事業の概要	※ 目指すべき姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載して下さい。 適切な遺族への対応と火葬業務を行う
(3) 事業の成果 目指す姿	※ 事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載して下さい。 不備が無いよう遺族を受入、最後のお別れをしていただき業務を遂行する

II. 指標【成果を判断する目標数値】

No	種別	内 容	区分	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
1	対象指標		目標値 実績値	人					
2	活動指標		目標値 実績値	回					
3	成果指標		目標値 実績値	千円					
4			目標値 実績値						

III. 事業費の推移 (単位：千円)

区分	19年度 決算	20年度 決算	21年度 決算	22年度 決算	23年度 決算	24年度 予算	20～24年度 合計
事業費(千円)	0	6,392	2,986	2,967	3,043	3,278	18,666
財源内訳							
国庫支出金							0
道支出金							0
地方債							0
その他		1,180	860	940	940	720	4,640
一般財源		5,212	2,126	2,027	2,103	2,558	14,026

IV. 担当課による事務事業の評価

区 分	チェック項目の説明（内容）等
1. 実施の妥当性 (1) 町の政策的な事業である。 ☒ (2) 公共性が高い事業である。 ☒ (3) 緊急性が高い事業である。 ☒ (4) 法令等により実施が義務付けられている。 ☐ (5) その他 【具体的に記載】 ☐	火葬場の管理（死体を葬るために、これを焼くこと）は、国民の宗教的感情に適合し、且つ公衆衛生その他公共の福祉の見地から、支障なく行われることを目的とする。
2. 経済性・効率性 (1) 費用に見合う効果がある。 ☐ (2) コスト削減の余地がある。 ☐ (3) 受益者負担の余地がある。 ☐ (4) 補助制度等活用の可能性がある。 ☐ (5) その他 【具体的に記載】 ☒	火葬業務については、委託にて行い事業コストの低減を図っている。計画的に火葬場の修繕を行い、老朽化した火葬場を効率良く運営している。
3. 必要性 (1) 町民のニーズがある。（高い） ☐ (2) 事業を継続する必要がある。 ☒ (3) 類似事業との統合・再編の可能性がある。 ☐ (4) その他 【具体的に記載】 ☐	火葬は、ニーズや社会情勢に必要なく必要である。
4. 代替性 (1) 行政主体による実施が適当である。 ☒ (2) 民間委託等による実施が可能である。 ☒ (3) 住民協働（主体）による実施が可能である。 ☐ (4) その他 【具体的に記載】 ☐	火葬業務については、委託にて行い事業コストの低減を図っている。
5. 事業の達成度 (1) 期待どおりの成果があがっている。 ☒ (2) 概ね期待どおりの成果があがっている。 ☐ (3) 成果が不十分である。 ☐ (4) 事業の見直し等が必要である。 ☐ (5) その他 【具体的に記載】 ☐	火葬業務中に炉が停止する事無く運営している為、今後も現状維持とする。

特記事項

V. 一 次 評 価（所管課）、二 次 評 価（庁内評価委員会）

区 分	評 価	評 価 選 択 理 由 / 今 後 の 方 向 性
一 次 評 価	継 続 【現状維持】	火葬業務を確実に遂行するため。
二 次 評 価		二次評価対象外

VI. 外部意見（興部町総合計画策定審議会）

--	--

VII. 総合評価（町長、副町長、教育長）

最 終 評 価	評 価 選 択 理 由 / 今 後 の 方 向 性

☆ 評 価

- (1) 継 続 **【現状維持】** ⇒ 事業内容、事業量に大きな変動がなく、予算増減が少ないもの
 (2) 継 続 **【拡 充】** ⇒ 事業内容、事業量に相当程度の変動があり、予算増を伴うもの
 (3) 継 続 **【縮 小】** ⇒ 事業内容、事業量に相当程度の変動があり、予算減を伴うもの
 (4) 継 続 **【統 合】** ⇒ 事業内容の類似する事業に統合し、この事業を廃止するもの

- (5) 終 了 ⇒ 単年度事業、期間満了による事業の終了
 (6) 休 止 ⇒ 隔年度での事業実施などによる事業の休止
 (7) 廃 止 ⇒ この事業を廃止するもの

平成24年度
平成23年度実施

事務事業評価調書

整理番号 4 - 15
作成年月日 24. 7. 24
事業区分 ☒ 継続 ☐ 新規

事務事業名 街区公園整備事業

事業開始年度 平成20年度 住民参加 ☐ 有 関係例規・法令名 都市公園条例、都市公園法施行令
事業終了年度 平成24年度 住民協働 ☒ 無 関係個別計画名

会計区分 一般会計 款 8. 土木費 項 3. 都市計画費 目 2. 公園費

担当 課 建設課 担当係名 土木係 調書作成者職氏名 課長 吉川 澄雄

【第五期興部町総合計画】 ☒ 登載事業 ☐ 非登載事業 実施計画登載No 159

分類	コード	名称
基本目標	5	環境を守る“まちづくり”
施策項目	30	公園・緑地の維持・保全
単位施策	1	公園・緑地の整備

I. 事業計画

(1) 事業の相手	※ 何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのか具体的に記載して下さい。 ・ 11児童公園、各学校、保育所遊具
(2) 事業の概要	※ 目指すべき姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載して下さい。 ・ 11児童公園、各学校、保育所の遊具の定期点検(都市公園法施行令第7条=安全確保) ・ 遊具、フェンスの設置及び撤去
(3) 事業の成果 目指す姿	※ 事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載して下さい。 ・ 法定の定期点検により、やうぐの安全が確保される。(別途、毎月、目視点検を実施) ・ 老朽化した遊具については、撤去又は修繕。設置要望ある場合は、新たに設置。

II. 指標【成果を判断する目標数値】

No	種別	内 容	区 分	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
1	成果指標	遊具等の設置 プラント4基、フェンス1基 車止め6基、定期点検53遊具	目標値 実績値	基	2・車6 2・車6		1	1	1
2	活動指標		目標値 実績値						
3	成果指標		目標値 実績値						
4			目標値 実績値						

III. 事業費の推移 (単位：千円)

区 分	19年度 決 算	20年度 決 算	21年度 決 算	22年度 決 算	23年度 決 算	24年度 予 算	20～24年度 合 計
事業費(千円)	0	3,039	656	1,661	1,325	1,382	8,063
財源内訳							
国庫支出金							0
道支出金							0
地方債							0
その他							0
一般財源		3,039	656	1,661	1,325	1,382	8,063

IV. 担当課による事務事業の評価

区 分	チェック項目の説明（内容）等
1. 実施の妥当性 (1) 町の政策的な事業である。 ☐ (2) 公共性が高い事業である。 ☒ (3) 緊急性が高い事業である。 ☐ (4) 法令等により実施が義務付けられている。 ☐ (5) その他 【具体的に記載】 ☐	町有施設であり、公共性が高い。また、点検については法令で義務付けとなっており、実施は妥当と考える。
2. 経済性・効率性 (1) 費用に見合う効果がある。 ☐ (2) コスト削減の余地がある。 ☐ (3) 受益者負担の余地がある。 ☐ (4) 補助制度等活用の可能性がある。 ☐ (5) その他 【具体的に記載】 ☐	
3. 必要性 (1) 町民のニーズがある。（高い） ☒ (2) 事業を継続する必要がある。 ☒ (3) 類似事業との統合・再編の可能性がある。 ☐ (4) その他 【具体的に記載】 ☐	公園近隣の子どもの状況や利用頻度から設置要望があり必要に応じて設置・撤去するため、事業を継続する必要があると考える。
4. 代替性 (1) 行政主体による実施が適当である。 ☒ (2) 民間委託等による実施が可能である。 ☐ (3) 住民協働（主体）による実施が可能である。 ☐ (4) その他 【具体的に記載】 ☐	町有施設であり、行政主体による実施が適当と考える。
5. 事業の達成度 (1) 期待どおりの成果があがっている。 ☐ (2) 概ね期待どおりの成果があがっている。 ☒ (3) 成果が不十分である。 ☐ (4) 事業の見直し等が必要である。 ☐ (5) その他 【具体的に記載】 ☐	維持管理が容易な遊具を設置しており、概ね期待どおりの成果が上がっていると考える。

特記事項

V. 一 次 評 価（所管課）、二 次 評 価（庁内評価委員会）

区 分	評 価	評 価 選 択 理 由 / 今 後 の 方 向 性
一 次 評 価	継 続 【現状維持】	要望に応じて設置・撤去しており、現状予算の範囲内で継続が必要。
二 次 評 価		二次評価対象外

VI. 外部意見（興部町総合計画策定審議会）

--	--

VII. 総合評価（町長、副町長、教育長）

最 終 評 価	評 価 選 択 理 由 / 今 後 の 方 向 性

☆ 評 価

- (1) 継 続 **【現状維持】** ⇒ 事業内容、事業量に大きな変動がなく、予算増減が少ないもの
 (2) 継 続 **【拡 充】** ⇒ 事業内容、事業量に相当程度の変動があり、予算増を伴うもの
 (3) 継 続 **【縮 小】** ⇒ 事業内容、事業量に相当程度の変動があり、予算減を伴うもの
 (4) 継 続 **【統 合】** ⇒ 事業内容の類似する事業に統合し、この事業を廃止するもの

- (5) 終 了 ⇒ 単年度事業、期間満了による事業の終了
 (6) 休 止 ⇒ 隔年度での事業実施などによる事業の休止
 (7) 廃 止 ⇒ この事業を廃止するもの